

令和5年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【体育・保健体育】

掲載数

7

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	小複合	体育・保健体育	保健体育 「自分の体を知ろう」	男女の体の違いについて学習した。男の子と女の子の体のイラストを提示し、自分の体はどちらか認識したり、洋服で隠す部分は大切な部分であることを学ぶために洋服を着させたりする学習を行った。洋服で隠す部分は自分だけの大切な部分であることを文部科学省から出している動画を見て認識を深めることができた。	文部科学省動画 「生命の安全教育動画教材(幼児期)」
2 神奈川県	高3	体育・保健体育	避妊法と人工妊娠中絶	家族計画と避妊・人工妊娠中絶について、自身の高校卒業後から40歳までの人生計画を考え、将来の生活をイメージしながら学習に取り組んだ。胎児の成長過程を見せながら、人工妊娠中絶にかかる負担を考えたり、産む判断をしたときに自分の人生計画がどう変わるのか考えたりしたことにより家族計画や避妊の大切さを学んだ。	現代高等保健体育 (大修館書店)
3 神奈川県	高複合	体育・保健体育	緊急時の対応について知る（救急法）	心肺蘇生法やAEDについて学んだ。実際の使用方法等を実演と体験を通して知ること、身近に捉えることができた。また、救急対応が必要な状況はどのような場面なのかということも知ることができ、自分事として捉えるきっかけとなった。自分の身を守ること、また、周りの人のことを考えること、いざというときに自分は何ができるかを考えることができた。	日本赤十字社に講師派遣を依頼。当日は実践用の人形を使用した。高等部分教室1～3年対象
4 神奈川県	高2	体育・保健体育	大切な心と体を守るために	実態別に2グループに分かれて授業を行った。 『大切な心と体を守るために』の動画を見て、ワークシートに自分の意見を記入したり、話し合ったりした。 ○よりよい人間関係を築くために ・体の距離間 ・心の距離間 ○性暴力について ・自分を大切にする。 ・相手を大切にする。 ・暴力を許さない。	

5	神奈川県	高複合	体育・保健体育	心と体の学習	昨年度高等部3年生で行った心と体の学習のカリキュラムに人形やワークシート、模型等を使って取り組んだ。1年ではプライベートゾーンやライフステージ、2年では思春期における心や体の変化、3年では妊娠、出産、避妊、身の守り方等に取り組み等、3学年を通して系統立てて取り組むことで、学部の生徒全員が命のつながりを感じられる授業を目指した。生徒の実態に応じて学習内容を精選し、必要に応じてグループに分けて取り組んだ。	人形、産道トンネル オムツ、疑似性器 コンドーム タブレット端末 (iPad)
6	神奈川県	高3	体育・保健体育	健康教育 「人との距離感と性教育について」	茅ヶ崎保健所の方を講師にお招きし、人と人の距離感（パーソナルスペース）の授業や性教育（妊娠、避妊、性病）の授業を行った。自他のいのちを大切にすることを育むとともに、社会人になるための知識の一助として生徒に理解してもらうことができた。	講師：茅ヶ崎市保健所 地域保健課、保健予防課の職員
7	神奈川県	高複合	体育・保健体育	救命処置について	地域の消防署の消防士4名を講師に招いて、心肺蘇生法について実習を行った。人形を使って胸骨圧迫とAEDの使用手順について講義と実習を行った。胸骨圧迫では「強く・早く・絶え間なく」行うことに苦労している生徒が多かった。また、12月は空気が乾燥し、火事の通報が多いことや、火災の原因についての話があり、災害や命の大切さについて学んだ。	講師：地域の消防署の 消防士 AED（練習用）、人形 分教室全生徒対象に行った。